

別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	住田町農業再生協議会「臨時総会」
開催日時	令和8年2月4日(水) 13時30分から14時30分まで
開催場所	住田町役場 町民ホール
<p>議長の氏名 (住田町農政商工課長 菊田 賢一)</p> <p>出席及び欠席委員の氏名</p> <p>(出席) 大船渡市農業協同組合 理事 多田まり子          岩手県農業共済組合 理事 小向浩人          住田町農業委員会 会長職務代理者 菅野良一 ※委任状出席          住田町農林業振興会連絡協議会 会長 横澤一郎          住田町認定農業者連絡協議会 兼 住田町農業農村指導士 佐々木信一          住田町 農政商工課長 菊田賢一</p> <p>(欠席) 気仙地方森林組合 代表理事組合長 古内文人</p>	
<p>説明のため出席した者の職氏名</p> <p>東北農政局岩手県拠点 総括農政推進官 佐々木英幸          東北農政局岩手県拠点 行政専門員 石黒邦彦          大船渡農林振興センター 農業振興課長 渡邊嘉紀          大船渡農業改良普及センター 地域指導課長 千葉守</p>	
<p>出席した事務局職員の氏名及びその職名</p> <p>住田町 農政商工課 小野和絵          住田町 農政商工課 吉田啓人</p>	
<p>議題、会議結果、会議の経過及び資料名</p> <p>第1号議案 令和8年産主食用米の生産目安について          上記について事務局より説明。</p> <p>Q 横澤一郎監事          各集落の生産目安として割り振られた面積は、実際実現できるものなのか。</p> <p>A 事務局          生産目安は、県全体の米生産推進により算定されたものであり、他市町村でも増加の傾向があるもの。若手の水稻栽培者もいるため、全体としては米生産拡大の方向。          →原案のとおり承認される。</p> <p>第2号議案 産地交付金等について          上記について事務局より説明。</p> <p>Q 横澤一郎監事          畑地化促進事業の実績額について、前年度交付実績の内訳を別表でつけてほしい。各年度の交付人数が分からない。</p>	

A 事務局

次回の資料で記載方法を見直す。

Q 多田まり子理事

産地交付金の支援メニューについて、「令和8年度まで」と記載があるものは、それ以降は支援が無くなるということか。

A 事務局

要件等を変更し助成することは可能性ある。検討次第。

Q 渡邊嘉紀農業振興課長

協議中とのことだが、変更となる部分はどこか。助成単価等変わるのか。

A 事務局

基本的には大きな変更は考えていない。町内の作付作物を支援できるようなメニューにする。

Q 横澤一郎監事

町内で加工用米・米粉用米を实践する考えはあるのか。安定的な所得確保のため、メリットはある。酔仙と町とで意見聴取してはどうか。

A 事務局

今のところ、作付希望する農家はいないが、情報収集に努めたい。

Q 佐々木信一氏

作付拡大助成について、どのような取組か。高齢化が進み農業をやめる人もいる。制度について生産者に分かりやすく周知が必要。

A 事務局

作付拡大助成は県が設定するメニュー。町内の該当者は少ない。座談会等の場で周知を行う。

→原案のとおり承認される。

第3号議案 経営所得安定対策推進事業費の活用方法について

第4号議案 集落座談会の開催について

上記について事務局より説明。

→質疑なし。事務局案のとおり承認される。(すべての役員が再任)

その他

東北農政局岩手県拠点より、令和8年産に向けた水田農業の取組方針について情報提供あり。